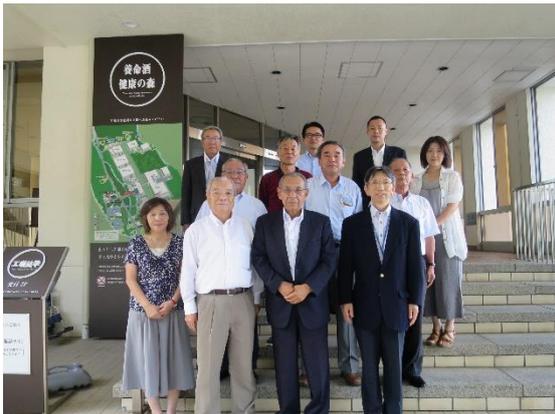


石川県中小企業団体事務局協議会～長野県へ視察研修～

去る、8月27日(木)・28日(木)の2日間、北陸新幹線「かがやき」に乗車して、長野県へ視察研修事業を実施しました。善光寺やその周辺の街中、製造現場、商店街等を視察し、各事業活動の見聞を広めてきました。長野は、北陸新幹線金沢延伸による通過都市化の懸念もありましたが、善光寺のご開帳等により駅周辺や街中は観光客で大変賑わっていました。

初日は、善光寺と周辺商業集積を見学した後、400年の歴史のある養命酒製造株式会社駒ヶ根工場へ移動しました。駒ヶ根工場では「伝統と科学の融合」を合言葉に、14種類の生薬を原料にした養命酒が製造されています。原料や原酒の製造から、厳しい品質管理を経て、従業員のたゆまぬ努力により養命酒の信頼と実績が築きあげられているそうです。製造ラインを見た後、工場スタッフから試飲用の養命酒をいただき、アルコール度数の高さに若干驚きでした。皆さんも日頃の疲労が取れた様子でした。

2日目は、ナワテ通り商業協同組合の齋藤理事長を訪ねました。国宝松本城から歩いて5分程にある長屋風の商店街です。理事長さんから商店街のハード整備や個店魅力づくりについて沢山の苦労話をお聞きしました。現地へ移動すると、そこは歩行者天国となっており、松本城を訪れる観光客で賑わう通りとなっていました。昔は簡易プレハブの露天のさびれたお店が、2001年に町家風の店舗に生まれ変わり各店舗店が元気よく営業していました。あっという間の2日間で、見聞を広めることのできた有意義な研修となりました。



養命酒 駒ヶ根工場前にて



ナワテ通り商業協同組合の街並み